

福島で震度5強

気象庁 土砂災害注意呼び掛け

31日午前3時53分頃、福島県沖を震源とする地震があり、同県楢葉町と川内村で震度5強を観測した。また福島、栃木、茨城の3県の計10市町村で震度5弱、東北地方を中心に、北海道から近畿地方にかけて震度4～1を観測した。

気象庁によると、震源の深さは約57キロ、マグニチュード(M)は6.5と推定される。東日本大震災の余震とみられ、震度5強以上の余震は7月23日以来で、

12回目。

同庁は「今後も時折、震度5強程度の余震が起きる可能性がある」として年単位の警戒が必要としている。また、豪雨で地盤の緩んだ地域に土砂災害などへの注意を促した。

各地の消防などによると、この地震で、宮城県岩沼市の女性(75)が起き上がった際、肩をぶつけて脱臼するなど、同県で2人、福島県で2人、茨城県で5人がけがをした。